

# E9 山陰道 多伎・朝山道路が開通！

## 〈道路の概要と効果について〉

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所 計画課

### 1. はじめに

平成31年3月17日（日）に、E9山陰道多伎・朝山道路（出雲多伎IC～大田朝山IC）の開通式を、地域の方々、関係者あわせて約400名の出席のもと挙行了しました。ご来賓の方々からは、お祝いの言葉を、地元の方々からは、期待とよろこびのこぼれ、またビデオレターをいただきました。その後、本線上でテープカット、くす玉開披、風船奉天が行われ、地元多伎藝神社（たききじんじゃ）の祭礼神事として続けられている花馬が開通に華を添えていただきました。その後、様々な車両の開通パレードを行ったほか、地元主催によるウォーキングイベント等も行われるなど地域が一体となって開通を祝いました。



写真－1 祝賀行事（テープカット等）の様子



写真－2 祝賀行事（花馬）の様子

### 2. 路線の概要

#### 2.1 山陰道の概要

山陰道は、鳥取県鳥取市を起点とし、山口県下関市を終点とする、延長約380kmの道路です。

山陰道は、鳥取・島根・山口3県の主要都市を東西に結び、移動時間の短縮や、空港・港湾へのアクセスの強化を図ることにより、各地域間の交流・連携の強化及び推進、山陰地方の産業・経済の発展や観光振興を目的として整備を進めています。

また、災害に強い国づくりを推進し、更に活力ある地域社会を形成するために、地域の自立的発展を支援する視点からも重要な路線です。

#### 2.2 今回の開通区間の概要

多伎・朝山道路は、島根県出雲市多伎町久村から大田市朝山町朝倉を結ぶ延長9.0kmの自動車専用道路で、平成18年度に事業着手しました。

一般国道9号は島根県の東西を連絡する唯一の主要幹線道路ですが、当該区間の現道は、平面線形、縦断線形の悪い区間が連続しており、特

#### 開通区間の概要

多伎・朝山道路	
起終点	(起点) 出雲市多伎町久村 (終点) 大田市朝山町朝倉
延長	9.0km
車線数	暫定2車線
開通	平成31年3月17日



図-1 山陰道の概要

に出雲市と大田市境の「仙山峠」付近は、急カーブが連続し交通事故の多発する島根県内でも有数の交通の難所となっています。また、平成18年7月豪雨災害では、一般国道9号が全面通行止めとなるなど、災害が多発する区間ともなっています。

このような状況を踏まえ、多岐・朝山道路および朝山・大田道路の整備により、安全で信頼性の高い道路ネットワークを構築し、安心した日常生活の確保や企業活動の支援、また救急活動を支援することが期待されます。

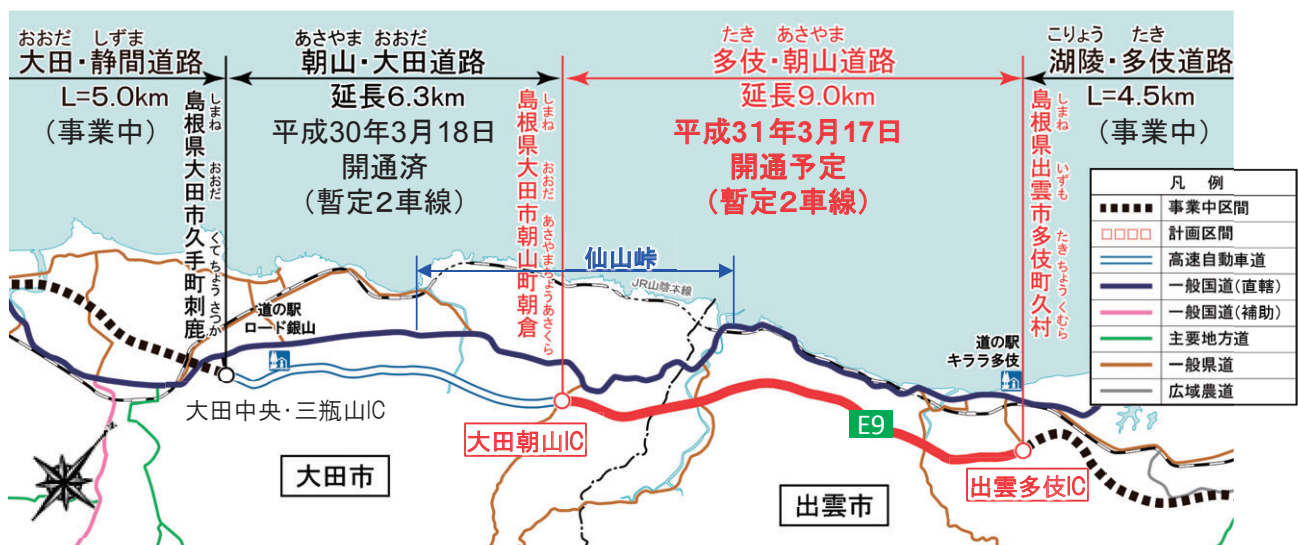


図-2 路線概要図

## 2.3 道路の構造

多伎・朝山道路は、全長9.0kmの道路であり、暫定2車線で開通しています。また、山間部を通過することから、比較的多くの橋梁部、トンネル部で構成されています。

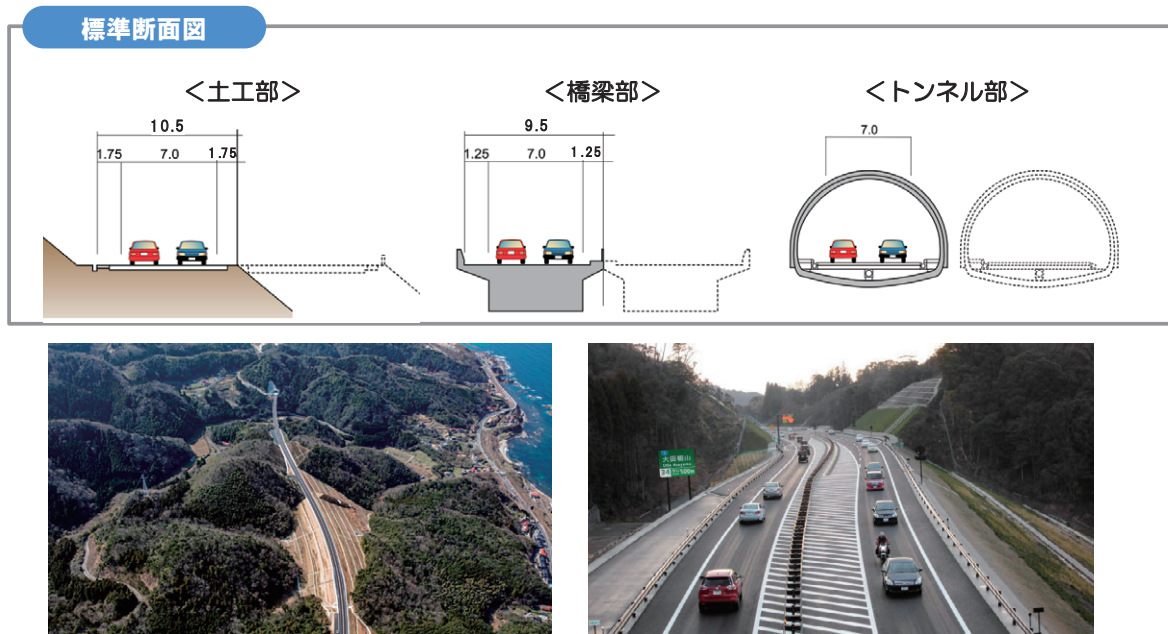


図-3 道路の構造

## 3. 多伎・朝山道路の整備効果

### 3.1 主要都市間の移動時間の短縮

島根県は、東西に約230kmと長く、県内の山陰道全線整備により主要都市間である松江市と益田市間の移動にかかる時間が約4割（90分）短縮されると見込まれています。多伎・朝山道路を含む島根県内の山陰道整備により、地域間交流の活発化、人物・物流・産業の活性化、地域経済の活性化が期待されます。



図-4 移動時間の短縮効果

### 3.2 安全、安心の確保（「仙山峠」の完全回避）

島根県を東西に繋ぐ主要幹線道路は国道9号以外に並行路線がなく、山陰道未整備区間の国道9号においては、交通事故等による全面通行止めの度に大幅な迂回を強いられ、住民生活や物流に支障を来たしています。

今回開通区間に並行する国道9号の「仙山峠」は、急カーブや急勾配が連続し、死亡事故も発生しています。多伎・朝山道路の開通で、仙山峠を回避でき、安全で快適な走行が可能となります。

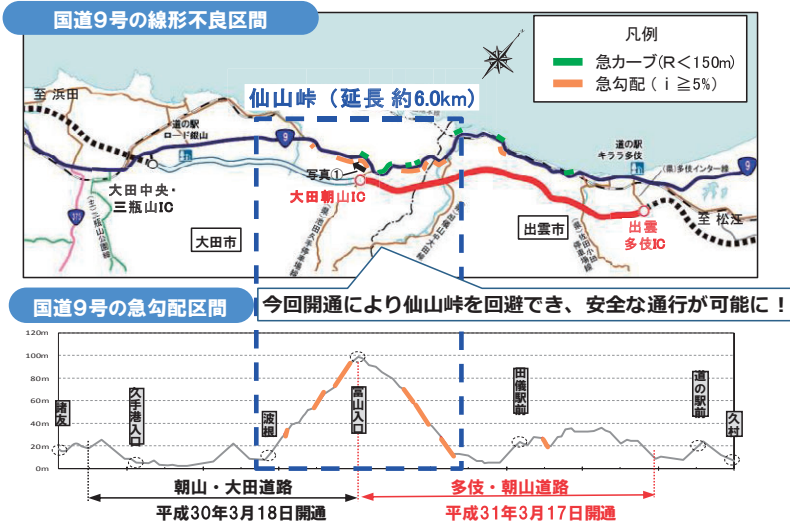
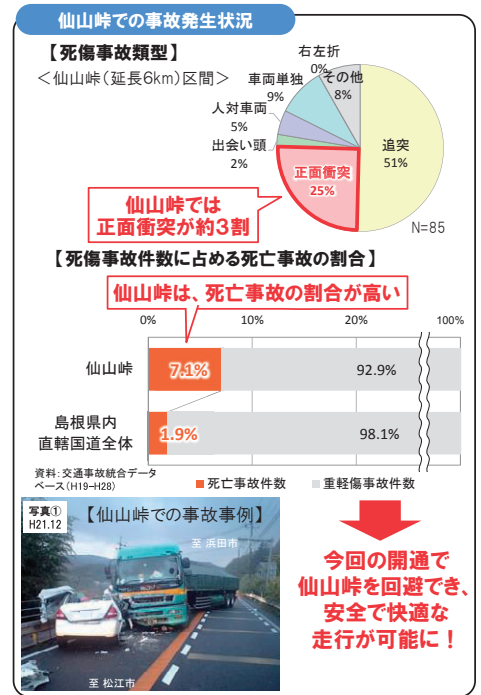


図-5 仙山峠の回避



### 3.3 救急活動支援

大田市から出雲市の第3次救急医療施設への救急搬送は年間約500件あります。

多伎・朝山道路の開通は、搬送時間短縮と現道の急カーブ区間の回避ができ、搬送時の患者への負担が軽減されます。

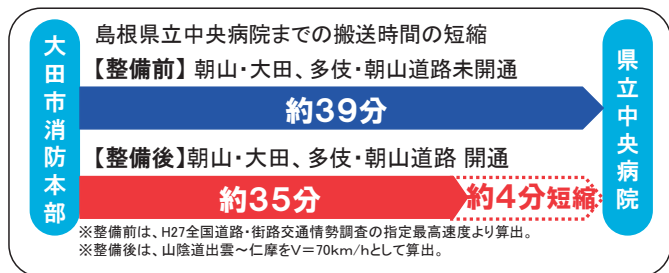
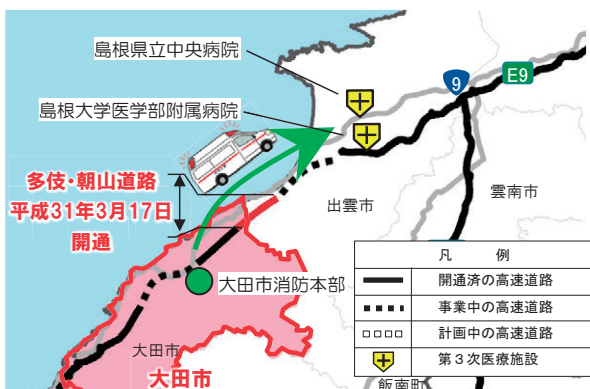


図-6 救急活動の支援

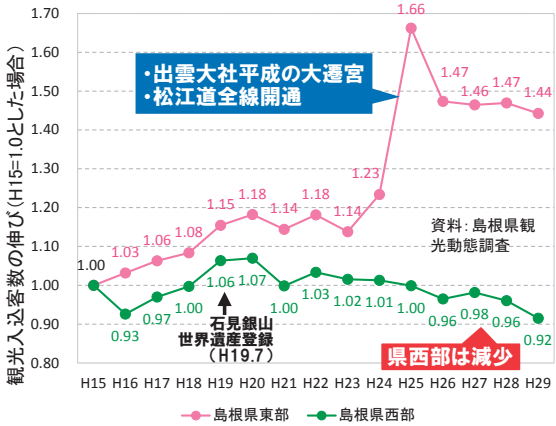
### 3.4 広域観光周遊の支援

島根県東部には縁結びで有名な「出雲大社」、国宝「松江城」、海外の著名なガイドブックで三つ星の評価をされている「足立美術館」等の山陰地方を代表する観光地があり、休日には多くの観光客で賑わいを見せています。また、県西部にも世界遺産「石見銀山遺産とその文化的景観」や白イルカのバブルリングで人気の「島根県立しまね海洋館アクアス」が立地しています。

しかし島根県東部から山口方面（島根県西部・山口県）のツアー数は少なく、観光入込客数も伸び悩んでいます。山陰道の整備により、県内東西を往来する広域観光周遊が期待されます。



島根県内の観光入込客数の推移 (H15=1.0)



島根県を巡る観光客の所在地 (H29)

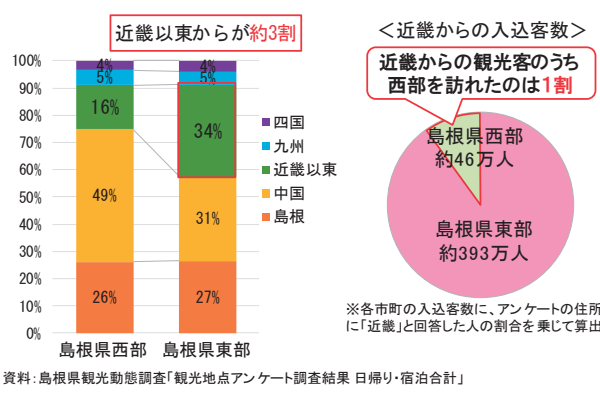


図-7 広域周遊観光の支援

### 3.5 企業の安定した生産活動を支援

今回開通区間に並行する国道9号の「仙山峠」での事故による渋滞や通行止めの影響で、企業活動に支障が生じていました。多伎・朝山道路の開通で、「仙山峠」の回避が可能となり、製造業等での安定した生産活動を支援すると期待されます。

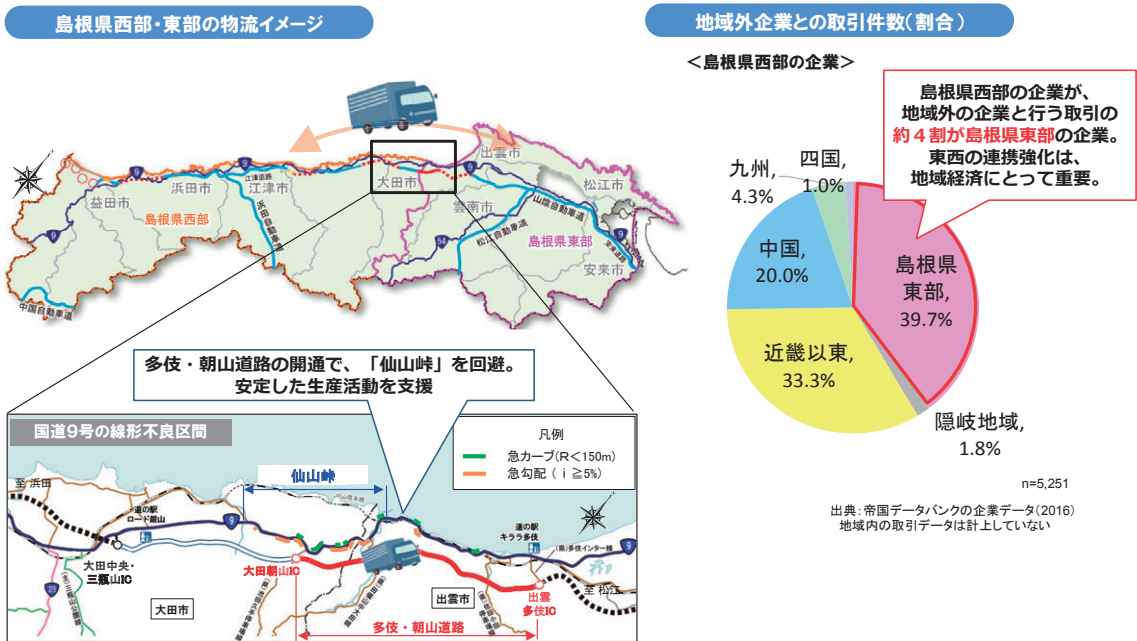


図-8 企業活動の支援

## 4. 新たな取り組み

### 4.1 ワイヤロープの設置

正面衝突事故の対策として、多伎・朝山道路においては、ラバーポールに代えてワイヤロープを設置しています。重大事故につながりやすい対向車線にはみ出している正面衝突事故の防止に役立ちます。

ワイヤロープの設置効果に関しては、「高速道路の正面衝突事故防止対策に関する技術検討委員会」において、全国12路線の連続する土工部の一部区間 計約115kmの箇所を試行設置（中小橋梁部を含む、H30.4現在）を実施し、設置開始以降、試行設置区間における対向車線への飛出し事故は1件のみであったことが報告されており、その有効性が示されています。



写真-3 ワイヤロープの設置

### 4.2 ICT活用工事

本事務所では、山陰道を平成27年度からICT土工活用工事のフィールドとして重点的に推進し、ICT土工実施件数・実施率は中国地方整備局内でトップで、平成29年度からはICT舗装工も実施しています。また、当事業箇所内の工事で平成29年度i-Construction大賞の国土交通大臣賞を受賞することができました。

具体的な導入例として、ドローンを用いた測量作業の大幅な省力化や、マシンコントロール搭載のブルドーザーにより、盛土作業の効率がアップ、リアルタイムで施工状況が把握できるため施工管理が容易で、オペレーター負担が大幅に軽減する等の効果が確認されています。担い手不足が顕著化している建設業で、生産性の高い、魅力ある仕事となるよう、山陰道の整備を中心に、引き続きi-Constructionを推進していきます。

なお、ICT活用の推進に当たっては、施工者と一体的に取り組むこと重視するとともに、今後のICT活用工事の展開に向けて、施工者が、全ての作業に主体的に関わり、効果を実感することで、ICT施工のノウハウを習得し、対応できる技術者を育成することにも留意しました。



図-9 ICT活用工事の概要

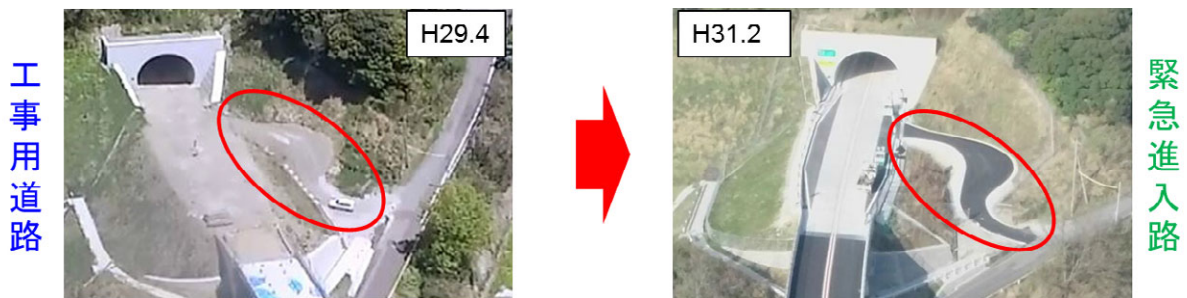
### 4.3 現場における工夫

多伎・朝山道路では、日本海沿岸の美しい眺望を考慮し、眺望が開けた区間に透過性のある防護柵を設置することにより景観に配慮しています。

また施工時に利用していた工事用道路を災害・事故発生時の緊急進入退出路として存置し、利活用することにより撤去費用のコスト縮減も図っています。



写真－４ 眺望が開けた区間の防護柵



図－10 工事用道路の利活用（緊急進入路）

## 5. おわりに

今回の開通により島根県の東部地域と西部地域が高規格幹線道路ネットワークで一体的に結ばれることになりました。このことにより安全性の向上や安定した物流の支援、島根県内東西を往来する広域観光周遊の支援など地域経済の活性化に大きく寄与するものと期待されます。今後も山陰道の1日も早い全線開通に向けて整備促進に努めてまいります。

最後になりますが、貴重な土地をご提供いただいた地権者の皆様をはじめ、事業の推進にご支援、ご協力いただいた多くの関係者の皆様に深く感謝申し上げます。